

## 2. 各特別勘定の運用状況

### 日本株式型特別勘定 運用状況 (2010年1月末現在)

#### 運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

#### 資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	16,423,835	99.0%
現預金・その他	166,667	1.0%
合計	16,590,502	100.0%

#### 運用状況

2010年1月の国内株式市場はTOPIX(配当込み)で前月比0.71%下落しました。月前半は、鉱工業生産指数が対前月比10ヶ月連続の上昇となるなど、景気持ち直しの動きが見られました。しかし、後半は米国での金融規制案の発表や円高の進行などを受けて下落しました。日経平均は月間で348円安の10,198円となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.92%下落しました。

現在、マルチ・マネージャー型の「ラッセル日本株式ファンドI-3」、バリュー運用を行う「日本株バリューマルチマネージャーファンド」および「SGターゲット・ジャパン・ファンド」への投資を行っています。

1月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

2月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

#### ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
86.63236112	▲0.92%	▲0.73%	▲4.81%	+16.55%	▲44.10%	▲19.20%	▲13.37%

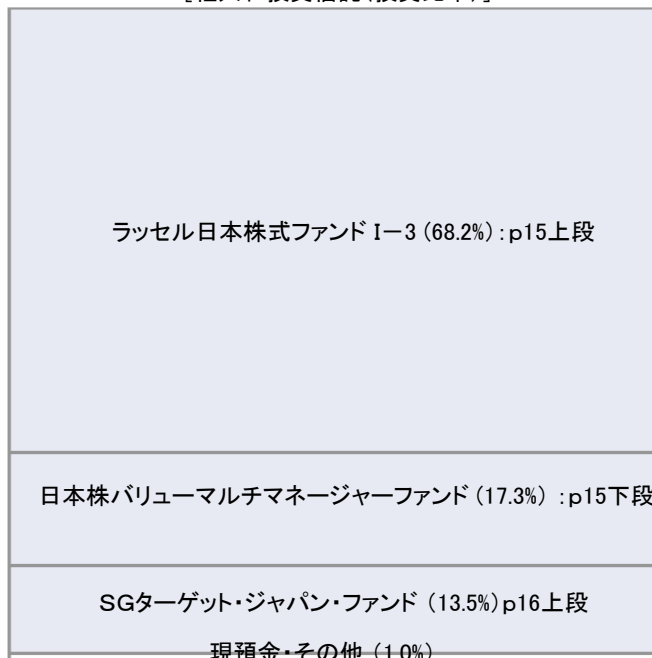
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

#### ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



#### ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

#### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。